

令和8年度 西部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位： μ ^{マイクロシーベルト} S v /時）

S v（シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ （マイクロ）： 10^{-6} （100万分の1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バック グラウンド
第1回目	令和8年4月8日	0.08	0.06	0.06	0.06	0.06
第2回目						
第3回目						
第4回目						
第5回目						
第6回目						
第7回目						
第8回目						
第9回目						
第10回目						
第11回目						
第12回目						

※ 1か月に1回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約1mの高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位： Bq / kg ）

Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

実施回 ^{※1}	採取日	検体	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム の合計
第1回目	令和8年5月予定	飛灰 ^{※2 ※3}			
第2回目	令和8年11月予定	飛灰 ^{※2 ※3}			

※1 埋立て先である地元の自治体等の要請に応じた頻度で測定を実施。

※2 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん（すす））をいう。

※3 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。